

横浜市立丸山台小学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>「自分が輝く みんなも輝く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分から進んで学び、経験や知識を活かしていく力を育てます。(知) ○自分を大切にし、人に優しくできる心を育てます。(徳) ○自らの健康を見つめ、体力を高め、たくましく生きようとする態度を育てます。(体) ○丸山台のまちを愛し、よりよい地域社会に向けて自分自身を磨き、果敢と意欲を育てます。(公) ○広い視野をもち、未来に向けてともに生きていく力を育てます。(開) 	<p><自分づくりに関する力></p>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人ひとりを大切にし、「チーム丸山台」として全職員で活気と魅力ある学校づくりを目指します。 ・自分からめあてをもち、自分らしさを発揮しながら夢中になって問題解決する授業づくりに取り組みます。 ・異学年、異校種交流や地域との連携を大切にしながら、自尊感情や自己有用感を育み、コミュニケーション能力を高め、誰もが安心して豊かに生活できるようにします。 ・まちや社会で働く人との出会いや学びを通して、自分の将来への夢や希望をもって生きようとする態度を育てます。 ・『食』の学びを中心に、健やかな体をと豊かな心を育むとともに、広く社会に目を向け、共に活動する姿勢を育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>確かな学力</p>	<p>①学習状況調査の結果から明確化された各学年の重点課題を解決するため、各学年で共通理解をして計画的に教科指導を行う。②問題解決的な学習を行うことで学習意欲を高め、基礎基本の確実な定着を図りながら、付けた知識を活かす活動を取り入れていく。③自分の思いを伝えるだけでなく相手の考えも聞き、対話して問題解決に向かう力の育成を図る。</p>
<p>担当</p>	<p>研究推進委員会</p>

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

各学年、各教科とも学力、学習意識、生活意識のポイントはおおむね良好といえる。様々な学習形態、多様な学習活動を通し、基礎基本の確実な定着を図ってきた成果と思われる。学習意識、生活意識調査においては、若干のばらつきはあるが、全体的に良い結果がみられた。1年生では、スタートカリキュラムを取り入れたことにより、学校生活への適応力や学習意欲の向上につながっていると考える。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：文章の内容を読み取る力は付いているが、目的に応じて正確に聞き取ったり、表現したりすることにはやや弱さが見られる。
- 算数科：知識、技能については、市の平均と同等か上回っている。自分の考えを表現したり説明したりすることには、やや苦手意識をもっている。
- 社会科：全体的に市の平均と同等か上回っている。資料を正しく読み取ることもできている。読み取ったことや身に付けた知識をもとに自分の考えをまとめることにやや弱さが見られる。
- 理科：全般的に市の平均と同等か上回っている。実験や観察を通して、知識を確かなものにし、知識を基にして思考を深めたりする活動が必要である。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学校全体として、これまで同様に市の平均を上回る結果が多くみられる。学力については、学年のばらつきが改善され、学年ごとの差が少なくなり、学校全体での言語活動を取り入れた各教科での取組が安定した成果として表れてきている。一方、「自分の考えを発表する」「話したり聞いたりして人と関わることが好き」「人の気持ちを考えて行動するようにしている」という部分では引き続き課題が見られる。国語科の重点研究による表現や話し合いの技能などを基にして、道徳科の重点研究によって、対話して問題解決に当たる力を身につけ、日常生活に生かしていくことを目指している。全ての教育活動を通して、自分の思いを伝えるだけでなく、相手を思いやり互いを認め合い、対話して解決に向かう力の育成を図っていきたい。

3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことを言葉にする力 相手の思いを受け止めて聞く力 問題を発見する力 	<ul style="list-style-type: none"> 話している人の方をしっかりと向いて、最後まで話を聞く姿勢を身に付けられるようにする。また、話題の中心は何か、ということを意識し、正しく行動にうつることができるようにする。 自分の思いや考えを、時場所を考慮し適切に伝えられるよう、コミュニケーション能力を高めよう。 	
2年		<ul style="list-style-type: none"> 話を聞くことの大切さを伝え、落ち着いて話を聞いたり、問題に取り組んだりする雰囲気を作る。 筆順に気を付けて、配当漢字を正しく書けるように繰り返し練習したり確認したりする。 正確に数えたり計算したりできるように、練習問題を繰り返し行う。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> 言語で正確に伝える力 伝える内容を明確にする力 誤謬に対する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと、聞くことの指導を大切に、しっかりと相手の話を聞く姿勢を身に付けさせる。 漢字を正しく読んだり書いたりすることができるようにする。 ものさしなどの、学習用具の扱い方に十分慣れ図形それぞれの特徴の理解を深めるようにする。学んだ知識を、他の活動や日常の中でも生かすことができるように算数的活動を大切にすること。 	
4年		<ul style="list-style-type: none"> すべての教科等で話し合い活動や相手意識をもった伝える活動を取り入れるとともに、聞くことに力を入れて、コミュニケーション能力の向上を図る。 言葉の意味を調べる活動を多く取り入れ、辞書の使い方に慣れるようにする。 単位等の算数の用語を適切に使い、正しく理解できるようにしていく。 身近な事象に触れたり、資料を正しく読み取って活用したりすることを大切にしながら、自分の考えをもち、その考えをもとに話し合う活動の充実を図り、理解を深めるように支援する。 生活や学習において、自分のめあてをもち、それに向かって取り組み続けることができるよう支援する。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな表現工夫する力 伝え合うことで集団の考えを深めさせる力 共働的に考え、解決策を見出し実行する力 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識や目的意識をもった言語活動を引き続き行う。 グループ活動を効果的に取り入れ、友達との話し合いなど交流を通して、コミュニケーション能力を育成する。 学習した漢字を日常から用いる習慣をつけ、登場人物の気持ちの変化を、叙述をもとに想像して読んでいく。 基礎・基本の定着を図れるよう、反復練習の時間を多くとる。 実験や観察の目的を明確にし、実感を伴った理解ができるようにする。 	
6年		<ul style="list-style-type: none"> 時と場に応じた挨拶や話し方を、生活の中で実践できるよう指導し、適切な話し方が身に付くようにする。また、文章の中から適切な言葉を引用しながら、自分の意見を表現できるようにする。 地図を見て正しく調べる力を生かし、わが国の特徴ある地域について知識を深められるようにする。 資料や問題場面を読み取り、立式が正しくできるよう、学習内容の復習を継続的に行う。また、問題解決までの自分の考えを、言葉で分かりやすく説明する活動をさらに取り入れていく。 観察、実験の結果を通して分かったことを、科学的な用語を用いてまとめる指導をして、基礎基本の定着につなげる。 授業で学んだ知識や技能を子どもが生かせるよう支援し、学習と生活場面のつながりを子どもがより意識できるようにする。 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">個別支援学級</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを言葉にする力 ・相手の思いを受け止めて聞く力 ・問題を発見する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す」「聞く」「書く」ことに重点を置いて取り組んでいく。 ・「話す」については、朝の会・帰りの会や、授業の最後の感想などで、自分のことを話す機会をもつ。その時に、なぜそう思うのか理由を言えるようにしていく。 ・「聞く」については、相手の気持ちを考えながら話を聞くことができるようにする。 ・「話す・聞くの約束」を常に意識して、活動に取り組んでいく。 ・「書く」については、実態に応じて定期的に日記を書く活動に取り組んでいきたい。また、行事が終わった後にも、心に残ったことを作文に書く活動を取り入れたい。 ・見る・聞くことに関するソーシャルトレーニングに取り組むことで、集中して話を聞けるようにする。 	
---	---	--	--